

12月号

みぶ



町の花 ゆりがお

発行 栃木県壬生町 昭和57年12月15日



ロードレース大会

イチ、ニツ。イチ、ニツ……。寒風を吹き飛ばすかのように、
力強い掛け声が響く。

寒くなるにつれ、マラソン大会などに競技者の季節となって
きました。

ここ壬生中でも、校内ロードレース大会が12月3日行われ、
若さあふれる元気な生徒たちの姿が見られました。

無投票で当選した楡井町長が町職員の拍手の中を初登壇（4月）



待望の町民の歌ができ中央公民館で発表会（3月）



昭和57年をふりかえって

紙から
広報
画面

昭和五十七年も残りわずかとなり、もうすぐ新しい年を迎えようとしています。町内では、いろいろなことがたくさんありました。そこで、今年一年間の主な町

1月
○各県代表者の出席を得て、新年祝賀式中央公民館で開く
○中央公民館に五二八人の新成人を迎え、第三十三回成人式行う

7月
○助役清水生一氏就任
○ノーマイカー・デー運動がスタート

8月
○羽生田土地改良区が発足し圃場整備事業に着手
○恒例の町盆踊り大会、大通りを会場に行う
○文書数を削減し、自治会長さんの負担軽減をはかるため、広報みぶお知らせ版を発行

2月
○町水道課が中央配水場へ移転
○清掃センターが竣工し、稼働始める
○待望の町民の歌が決まり、これを制定
○新婚農業後継者激励会および結婚相談員に感謝する会中央公民館で開く

9月
○川野辺弘二取入役退職
○南大飼公民館新築工事始まる
○パイパス北入口に電光表示盤を設置
○母子健康センター廃止される

3月
○町民の歌発表会を中央公民館で開く
○町長に楡井章三氏が無投票当選。町議会議員選挙が行われ、三十名の新議員も決まる
○臨時町議会が開かれ、議長に梁島庄左エ門氏、副議長に北條典彦氏が就任
○農村婦人の家、富士見荘、睦作業所、第五保育所が開所
○県道小山・今市線、真岡、壬生線の一部、国道三五五号線へ昇格

4月
○佐藤正幸町長退職
○町長に楡井章三氏が無投票当選。町議会議員選挙が行われ、三十名の新議員も決まる
○臨時町議会が開かれ、議長に梁島庄左エ門氏、副議長に北條典彦氏が就任
○農村婦人の家、富士見荘、睦作業所、第五保育所が開所
○県道小山・今市線、真岡、壬生線の一部、国道三五五号線へ昇格

5月
○働く人たちの祭典、第五十三回統一メーデー行われる

11月
○自治功労者十一名を表彰
○五十五チームが参加して、町民体育祭行う
○自治会連合会主催による町政懇談会開かれる
○栃木県知事選挙行われる
○中学新人野球北関東大会で壬生中初優勝

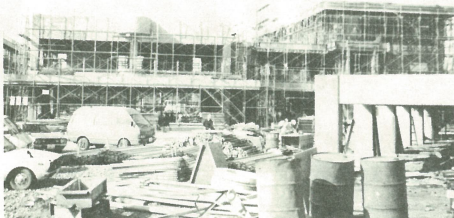
6月
○空き缶一掃運動が展開される
○第三十三回全国植樹祭が矢板県民の森で開催される

12月
○消防団通常点検を壬生小校庭で行う
○役場本庁と支所間がフックシミリで結ばれ、各種証明がどこでも取れるようになる



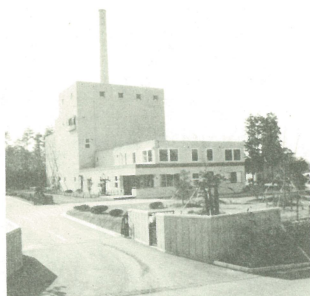
町盆踊り大会は今年は大通りで行った（8月）

心身障害者授産施設「睦作業所」が開所（4月）

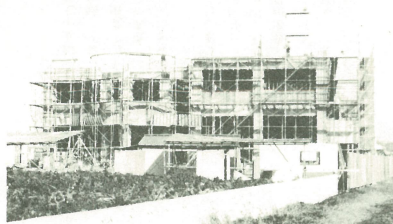


57・58年度の2カ年継続事業で南大中の校舎増改築工事に6月30日着手、現在工事が急ピッチで進められている

3年に一度の町民体育祭が盛大に行われた（11月）



清掃センターが完成し1日50トンのゴミ処理が可能になる（2月）



来春3月完成をめざし勤労青少年ホーム隣に建設中の南犬飼公民館

まちの台所は

昭和57年度上半期

このように

(4月～9月)

町税のうちのわけ (57年度予算から)

町民一人当たり負担額



57,914円

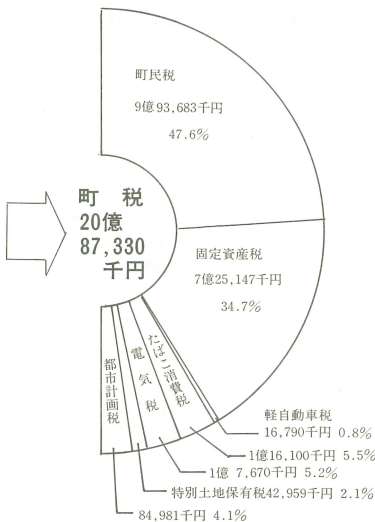
町民税 27,567円
固定資産税 20,096円
たばこ消費税 3,185円
電気税 3,012円
都市計画税 2,374円
その他 1,680円

一世帯当たり負担額



208,984円

町民税 99,476円
固定資産税 72,518円
たばこ消費税 11,494円
電気税 10,867円
都市計画税 8,568円
その他 6,061円

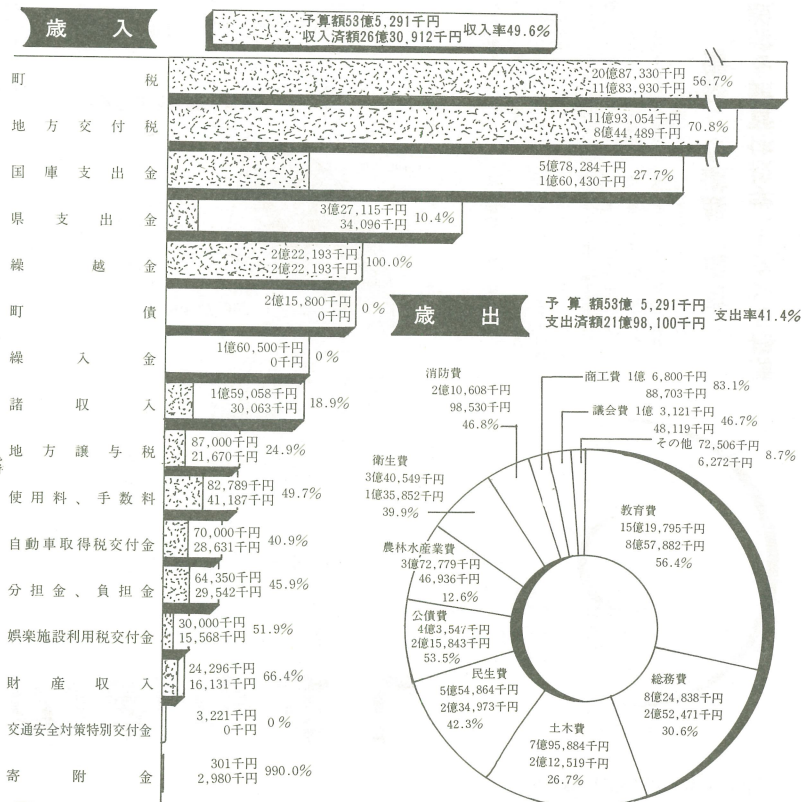


特別会計予算の執行状況

昭和57年 9月30日現在 単位：千円

区分	国民健康保険	公共下水道	国谷区画整理	奨学資金	上水道
予 算 額	1,317,078	419,042	162,129	1,602	282,167
歳入済額 (収入率)	558,031 (42.4%)	115,568 (26.6%)	39,247 (24.2%)	1,608 (100.4%)	141,684 (50.2%)
歳出済額 (支出率)	415,628 (31.6%)	108,782 (26.0%)	37,698 (23.3%)	851 (53.1%)	124,341 (44.1%)

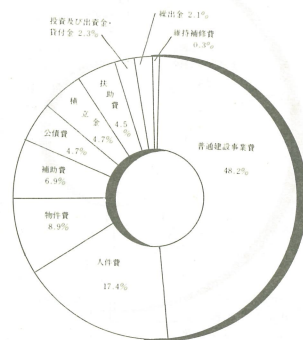
一般会計予算の執行状況 (昭和57年 9月30日現在)



みなさんが納めた税金や地方交付税がどのくらい使われているか……。町民のみなさんに町の財政状況を知っていただき、今後とも協力いただくため、毎年、同五月と十一月に町の財政状況を公表しています。

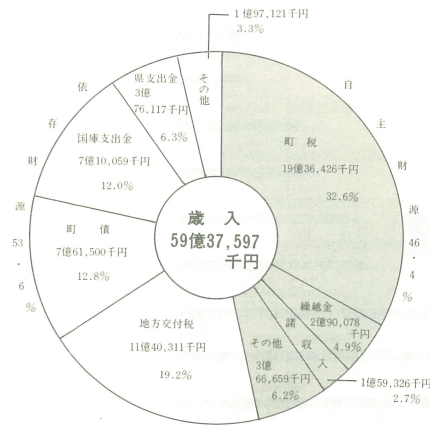
今回は、昭和五十七年度予算のうち四月から九月までの上半期の状況(四億一五五)と昭和五十六年度の決算状況(六億一七五)についてお知らせいたします。

③ 性質別歳出状況（普通会計）

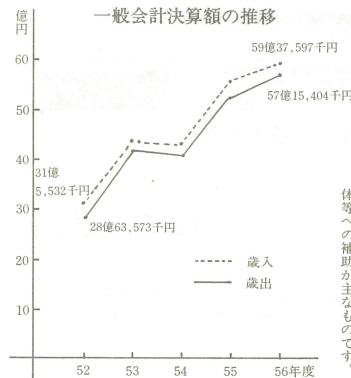


のあらまし

① 歳入の状況（一般会計）



一般会計決算額の推移



清掃センター、学校体育館を建設 町道、農道など整備

昭和五十六年度の一般会計の決算額は、歳入五十九億三千七百七十九万七千円、歳出五十七億一千五百四十四万四千円となつています。これを前年度と比べると、歳入では六・七パーセントの増、歳出では八・二パーセントの増でした。

グラフ①は、歳入の決算の割合を示したものです。グラフから地方交付税や町債などの「依存財源」が、総収入の四八・二パーセントを占め、町税など、自主財源が四六・四パーセントであることがわかります。前年度と比べ、依存財源が三・〇パーセント増加しています。どのような事業にどのくらい

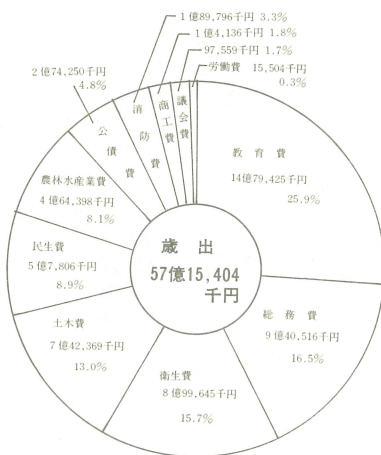
使われているか。歳出は、グラフ②のとおりです。教育費、総務費、衛生費、土木費、民生費の順になっています。

また、グラフ③は性質別歳出の状況です。全体の四八・二パーセントを占める建設事業費は、増大するゴミ処理に対応するための清掃センターの建設をはじめ、壬生小学校校舎増改築、壬生中学校体育館建設など義務教育施設の整備、さらに、町道、農道整備、新農村婦人の家、心身障害者授産所などの公共施設の整備などによるものです。

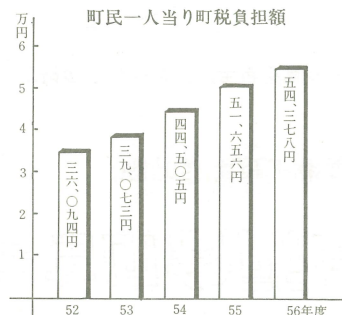
次いで人件費は、職員などの給与に当たります。物産費は、事務に関する消耗品や備品に用いる費用です。補助費は、各種団体等への補助が主なものですが、

56年度決算

② 歳出の状況（一般会計）



町民一人当たり町税負担額



公共下水道事業特別会計の決算は、歳入が四億三千六百三十七万二千円となり、残額二億三千九百九十九万七千円を昭和五十七年度へ繰越しました。

足額は建設改良積立金および損益勘定留保資金で補てんしました。

特別会計 決算状況

国民健康保険
国民健康保険特別会計の決算は、歳入が一億四億二千八百四十四万七千七百九十九円となり、歳出が一億四億二千八百四十四万七千七百九十九円となり、残額二億五千五百五十七万五千円を昭和五十七年度へ繰越しました。

水道事業
水道事業会計は、収支収支では総収入額二億二千七百七十九万七千七百九十九円、総支出額二億一千九百九十九万七千七百九十九円となり、残額一億五千五百五十七万五千円を昭和五十七年度へ繰越しました。

国谷土地区画整理事業
国谷土地区画整理事業特別会計の決算は、歳入が二億四千七百七十九万七千七百九十九円、歳出が二億四千七百七十九万七千七百九十九円となり、残額二億四千七百七十九万七千七百九十九円を昭和五十七年度へ繰越しました。

奨学資金特別会計

奨学資金特別会計の決算は、歳入が六万三千円、歳出が六万四千円となり、残額一億四千三百円を昭和五十七年度へ繰越しました。

地方債現在高

一般会計	3,394,126千円
教育	1,482,484
土木	406,262
民生	245,226
衛生	578,104
対農	248,862
業	99,621
労働	48,240
その他	285,327
国谷土地区画整理事業	80,000千円
上水道事業	1,939,368千円
公共下水道	803,462千円

づくりへ 芸術の祭典・文化祭開かれる



日頃の練習の成果を披露してくれた邦楽会



自慢のノドを聞かせてくれた民謡大会(上)と吟詠大会(下)



参加者の多かった音楽祭



「情操豊かな文化の町づくり」をテーマに、十月十日～十一月二十一日まで、中央公民館や老人憩いの家、茶室などを会場に町文化祭がはじまりました。この祭典は、民謡大会を皮切りに、音楽祭や囲碁大会、盆栽展、写真展、茶会など……十六日追ってみまう。



立派な作品が多かった写真展(右)、文芸展(左)、美術展(右)、書道展(左)



観客を魅了した日本舞踏会

情操豊かな町

菊づくり教えています

後継者育成に励む中島さん

みぶ 菊づくりの後継者を育成しよう、と、万町の中島大郎さん



菊の手入れをする中島さん

菊づくりの技術者を育成しよう、と、万町の中島大郎さん

中島さんは、菊づくりにかけては、菊栽培のさし芽から開花までを教えます。

菊づくりの技術者を育成しよう、と、万町の中島大郎さん



自慢の腕を競った将棋大会(上)と囲碁大会(下)



心にやすらぎを与えてくれた



寺宝館を無料公開(文化財展)



丹精こめて作られた作品がずらり…盆裁展(右)と菊花展(左)



町史編さん だより ⑬

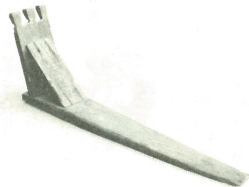
民俗 その一

地域社会の歴史を理解するためには、支配層の人々について調べることももちろん大切ですが、住民の大部分を占めた庶民の生活の中核、長い年月をかけて生れた有形、無形の文化の様子を明らかにすることも、忘れてはならないことと思います。

従って、これらの民俗資料を、緊急に調査して保存し、子孫に正しく伝えることは、私たちに課せられた責務ではないでしょうか。

本町においてもこのような考えで、町史編さんを進めており、専門の先生方が民俗調査を実施していますので、趣旨をご理解の上、ご協力をお願いいたします。

皆さんのご協力をいただく上で参考になると思いますので、これから何回かに分けて、民俗資料の内容を紹介する予定です。



草履作り台

が作れるよう指導していきたいと張り切っています。現在も受講生を募集しているそうです。

で、興味のある方は一度行って菊を手がけてみてはいかがでしょうか。

カメラスケッチ

4 H、生活改善クラブが即売会

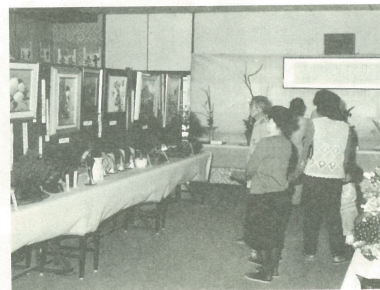
新鮮な野菜を安価で食べてもらおうと、4 H、生活改善クラブが毎年行っているもので、会員の栽培したごぼう、大根、ネギ、白菜と、手作りまんじゅう、漬け物、手打ちそば等を販売、午前10時の開始とともに、大ざいの客がつめかけ、約1時間であとんどが売り切れたいへん好評でした。



地域住民の連帯感深まる

この催しは、今年で2回目で、昨年好評だったことから今年も実施したもので、短歌や俳句をはじめ絵画、生花、盆栽など、地域の人たちが作った409点が展示され、訪れる人たちの目を楽しませました。

また、この2日間で昨年を上回る約280人の参観者があり、大成功に終わりました。



俳句

妻と娘の今日の仔細しさいが風呂場より聞こぬ酔ひの浅き眠りに

若林 圭子

よ病院にゆへに、
またすこ細くなりたるこの院
逝きし人おくる道辺に一輪の野
菊、喪服の裾にふれたる

俳句

荒川 綾子
佐藤 淑子
山田 柳子
松島の 秋子
荻原 久
突生川 松
赤崎 伸
す

子供服を買う時は、洗濯に耐えられる素材を選びたい。そう、汗かきで汚やすいもの、繊維は丈夫で吸湿性も優れた、家庭洗濯にも耐えられる素材を選ぶ。冬には、毛が乾くのも暖かい。既製衣料呼んでもいい。

子供服を買う時のヒント

サイサイズは、

ろくでかい、少なきとて、子供に成長して長巾より天竺に影響するのへムは子供、で、女児服のものへムは少分より、伸縮性に富み柔軟性があり、機能的です。

のですが、洗濯による収縮も心配されます。混紡も上手に取り入れましょう。丈夫で縫製がしっかりしており、シンプルなデザインが子供の愛らしさを引き立てます。ゆるみが多過ぎるとサイズにより、決められています。子供の成長は個人差が大きく、符号が当てはまらぬことが多い。試着させるのがいいですが、できなければ、裸寸法を測りサイズを参考に決めます。

壬生小6年
栗原 昭裕

船が冷たい風が、よけい冷んやりと顔に当たれば、よくちたの船をさえるように思えた。ばくちたちの修学旅行の遊覧船ビクトリア号である。ビクトリア号は、世界最大の超豪華戦艦をモデルに設計したものである。

修学旅行

動かしてバスへ乗りこんだ。

修学旅行



壬生小6年
荒川 幸子

紅葉し始めた周りの木々、
とこの別荘であるような
さびしき家々、と、さつと
さびしきかき、周りの景色は
見えなくなった、とまもなく
また、きりが晴れる。景色が
消えたり現れたり、まるく映
画で見て現れているようだ
波ははだやかに、はくちち
小原城とさしり計画つ

十月十九日の早朝四時起床
いつもは夢の途中なのに、な
ぜか、今朝は「ばっ」と目が
ひらいて、頭はすっきり学校
を六時に出発しました。

見学場所は、羽田空港、鎌
倉八幡宮、大仏、江の島マリ
ナランド、大涌谷、箱根関所
小田原城とぎっしり計画がっ

羽田空港にはたくさんの飛行機があり、飛機場の広さには本当に想像以上です。頭の中の想像以上に広さです。いつの日か、ジャンボジェット機に乗れる日もくるだろうと思っただけで、楽しくなっていました。

鎌倉では、大仏の大きさにおどろき、私と身長七倍もある高さにあてを覚えて、ばかんと口をきけをいまして、が大勢の見学者でうっかりはしていません。

一番心に残ったのは、桃源台から元箱根に行く間、遊覧船に乗ったことですね。かいぞう船で、とってもすごい船です。きりの中から、かいぞう船が姿を表した時には、思わず「わあ」と歓声をあげてしまいました。この時の景色は、絶対に忘れられません。それと、最後山をのり出さなかった富士山が、標のパスの中から見えた時がうれしくて、また歓声をあげてしまいました。

修学旅行の二日間、あつという間に過ぎてしまいました。一人のけがも事故もなく予定通りの行動が来た上に楽しい思い出ばかりです。

壬生史跡めぐり

その二十四

壬生町のほぼ中央を流れる黒川は、昔、羽生田から上稲葉にのびる峯山丘陵によって、直流をばまれ、丘陵の西側を大きく湾曲して流れていたが、大きな峯山の丘陵を堀割って南に直流させる大工事を見事完成させたのは、寛永十五年（一六三八）



掘切

数年間まで、大きな枝振りのよい松が繁っていたが、枯れてしまい、後つぎの松も植えられたがまた枯れてしまったので惜しいことである。七ツ石の小倉さん宅には、八幡宮が祀られ、義家の自作と伝えられる盃台が伝わっている。

「筆者 藍田」

行政改革

皮切り

「年の市を皮切りに、あわただしい歳末行事が始まる」など、物事のし始めを「皮切り」と言います。ところで「言葉が、お灸きょう」に由来する、というののちょっと意外かも知れませんが、一番初めにすすんでお灸を切ると「皮切り灸」といって、このお灸を「皮切り灸」といって、皮切りの一灸（ひと灸）と言っています。物事の始めはなんでも苦しいこのたとえになっています。



行政改革とは「時代の要請に即応した簡素にして効率的な政府をつくること」です。その方法は、時々の社会経済情勢などにより変化しています。池田内閣当時の第一次臨時行政調査会は、折からの高度成長を背景に行政の「能率化」、総合調整機能の強化などを目標とした答申を三十九年に提出し、その後の行政改革の基礎として大きな役割を果たしています。三月には第二次臨時行政調査会が発足し、安定成長時代に対処できる長期的かつ総合的な観点に立った抜本的な行政改革の策定に取り組んでいます。すでに、第一次答申（行政改革に関する緊急提言）および第二次答申（許認可等の整理合理化）を提出し、七月三十日には第三次答申（基本答申）により、国の行政の全般にわたって広く見直しを行い行政改革の基本的な方策を提出しました。政府は、これら答申を最大限に尊重して、今後行政改革の実現に計画的に取り組むこととしています。

給与所得者の税金還付は

年末調整の再計算で

子供が生まれたりした方は、年末調整のやり直しを勤務先でしてもらうことができます。この制度は、還付を受けるための確定申告書を税務署に提出することなく、還付が受けられる便利な制度です。なお、年末調整のやり直しの期限は一月三十一日までです。くわしくは最寄りの税務署・税務相談室へおたずねください。



善意銀行

- 金三、〇〇〇円 上通町 水野 シナ様
- 金七〇、七〇〇円 壬生町ダンス愛好者様
- 金三、九二〇円 安塚三 衆川 とめ様
- 金八〇、〇〇〇円 伏木進様・中津省七様
- 金五、〇〇〇円 城内 染谷勝四郎様

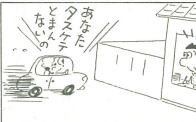
1月の納税

町民税

第四期分

君がやわさ

宗 西村



たばこは地元で買いましょう

人口 36,069人(+20) 男 17,996人(-4) ()内は前月比
世帯数 9,991世帯(+10) 女 18,073人(+24) 12月1日現在